

都市再生整備計画 事後評価シート
鮎壺公園・下土狩駅周辺にぎわい交流地区

令和8年2月

静岡県長泉町

様式2-1 評価結果のまとめ

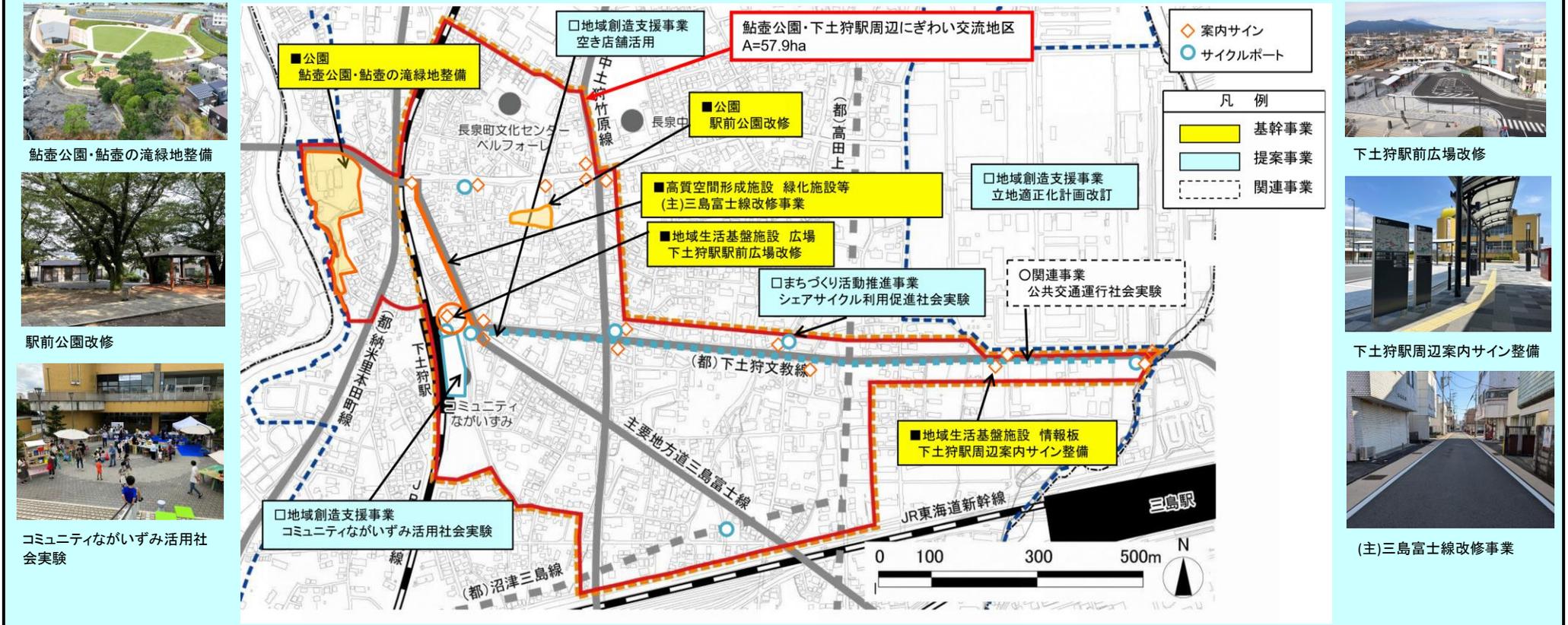
都道府県名	静岡県		市町村名	長泉町		地区名	鮎壺公園・下土狩駅周辺にぎわい交流地区			面積	57.9ha
交付期間	令和2年度～令和6年度		事後評価実施時期	令和7年度		交付対象事業費	2,522百万円	国費率	0.46		
1)事業の実施状況	当初計画に位置づけ、実施した事業	基幹事業	【公園】鮎壺公園・鮎壺の滝緑地 【地域生活基盤施設(広場)】下土狩駅 【地域生活基盤施設(情報板)】下土狩駅周辺 【高質空間形成施設(緑化施設等)】県道三島富士線								
		提案事業	【地域創造支援事業(空き店舗活用)】下土狩駅周辺 【地域創造支援事業(コミュニティながいずみ活用社会実験)】コミュニティながいずみ 【まちづくり活動推進事業(公共交通運行社会実験)】下土狩駅～三島駅北口付近 【まちづくり活動推進事業(シェアサイクル利用促進社会実験)】下土狩駅周辺								
	当初計画から削除した事業	基幹事業	-		-			-		-	
		提案事業	【まちづくり活動推進事業(公共交通運行社会実験)】下土狩駅～三島駅北口付近	広域(三島市、裾野市、長泉町、清水町)で社会実験を実施するため、都市構造再編集集中支援事業関連事業として位置づけた。		公共交通運行社会実験自体に変更はないことから指標への影響はないものと考えている。					
	新たに追加した事業	基幹事業	【公園】駅前公園	地域資源である割狐塚稲荷神社に隣接する駅前公園を改修し、住民や来訪者が快適に利用及び回遊できる環境を整備するため。		地区内の回遊ルートの資源となるものの、直接的に他の施設の指標等への影響は少ないと考えられるため、数値目標は据え置く。					
		提案事業	【地域創造支援事業(立地適正化計画改訂)】立地適正化計画改訂業務	計画地区は、都市機能誘導区域に設定されており、令和2年に都市再生特別措置法が改正され、新たに「防災指針」を定めることとなったため。		計画改訂業務のため指標への影響はないと考えている。					
	交付期間の変更	当初	-	-		-		-		-	
	変更	-	-		-		-		-		
2)都市再生整備計画に記載した目標を定量化する指標の達成状況	指標		単位	従前値	目標値	数値		目標達成度	1年内の達成見込み	効果発現要因(総合所見)	フォローアップ予定時期
	指標1	鮎壺公園利用率	%	基準年度	目標年度	モニタリング	評価値	○	あり	鮎壺公園の整備により、公園の利用目的が変わった人が約5割を占める。その理由として、「散策で利用するようになった」「子どもと利用するようになった」など日常的な利用を目的とする人が増加しており、その結果、月1回以上利用する人の割合が増加したと考えられる。	-
				2018	2024	-	36.7		なし		
	指標2	民間イベント開催回数	回	基準年度	目標年度	モニタリング	評価値	△	あり	● 2024年度に実施されたイベントは、鮎壺公園で1回(オープニングイベント)、下土狩駅で6回(長泉鉄道まつり、WithMeマルシェ、SlowLifeMarche、どがり停車場お気楽市、ちよっとひとときマルシェ、おもてなしマルシェ)実施されている。これらのイベントは1月、3月、9月、11月の開催となっている。今後は、鮎壺公園の芝生広場や鮎壺テラスを活用したイベント、ゴールデンウィークや夏季休暇などの季節に応じたイベントなど、1年を通じた新たなテーマによるイベントの実施による地域活性化が期待される。	2026年度
2018				2024	-	7	なし				

	指標3	下土狩駅乗降者数	人/日	2,724	2018	2,940	2024	—	2,638	×	あり	2019年まで2,700人台を維持していたが、2020年1月より新型コロナウイルス感染症が発生したため2020年度には2,082人となり著しく減少した。その後、下土狩駅周辺の整備や鮎壺公園・鮎壺の滝緑地の整備等が進む中で上昇に転じているが、新型コロナウイルス感染症による影響が大きいため、目標の達成は見込めていない。しかしながら、2021年以降、毎年上昇しており、今後も下土狩駅乗降者数の増加が期待される。	-	
	指標4										あり			
	指標5										あり			
3) その他の数値指標 (当初設定した数値 目標以外の指標)に よる効果発現状況	指標		単位	従前値	基準年度	目標値	目標年度	数 値		目標	1年以内の	効果発現要因	フォローアップ	
	その他の数値指標1	鮎壺公園整備の満足度	%	-	-	/	/	モニタリング	評価値	達成度	達成見込み	(総合所見)	予定時期	
	その他の数値指標2	鮎壺公園の来訪者数	人/月	-	-	/	/	-	6,877	/	/	鮎壺公園の整備により、日常的な利用を目的とする人が増加している。	-	
	その他の数値指標3	下土狩駅前広場改修の満足度	%	-	-	/	/	-	74.8	/	/	下土狩駅前広場の改修により、移動や待ち合わせが快適になったことへの評価が高い。	-	
4) 定性的な効果 発現状況	<p>下土狩駅周辺的美観が向上したことにより、駅前広場に隣接するコミュニティながいずみへ、児童生徒が放課後に訪れるようになるなど、駅周辺のにぎわいが向上している。鮎壺公園(近隣公園)がローカルメディアに取り上げられ、町内外の関心が高まったことにより、近隣住民だけでなく、周辺地域からも多くの人が訪れるようになった。</p> <p>このほか、鮎壺公園・下土狩駅周辺地区まちづくりアンケート結果より、以下の意見が見られます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・駅前の改修や鮎壺公園の整備でとても住みやすい環境となっています。 ・鮎壺公園や下土狩駅前の改修は快適な空間、歩いて楽しいという面から大満足です。 ・ここ最近町の整備がとてますんでいて、住みよい町になって活気が出てきたと思います。 ・鮎壺公園は毎週小さい子供で賑わっており、キッチンカーも出ていることで、低コストで親子が時間を過ごすことができている様子が見られており、事業の成果が出ていると感じています。 ・鮎壺公園、下土狩駅前の整備によってそれぞれが明るいイメージとなり、町外来訪者を含め利用者層や利活用の幅が広がったと感じます。 													
5) 実施過程の評価			実施内容				実施状況				今後の対応方針等			
	モニタリング		交付期間前年(R5)まで、ほとんどの事業が実施中であり、指標の改善と事業との関連性を確認できないため、モニタリングは実施しなかった。				都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった							
	官民連携による取組		民間と連携した提案事業「空き店舗活用」「コミュニティながいずみにおける社会実験」「シェアサイクルの社会実験」を行った。				都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった				<ul style="list-style-type: none"> ● 〇空き店舗活用 民営の coworking スペースとして、多様な働き方の支援や交流の促進、ビジネスマッチング、起業支援など、サポートを行っていく。 〇コミュニティながいずみにおける社会実験 引き続き、下土狩駅周辺において民間共催の活性化イベントを開催していく。 〇シェアサイクルの社会実験 令和7年現在11箇所のシェアサイクルステーションが設置されている。今後は、鮎壺公園等への設置を検討する。 			
	持続的なまちづくり体制の構築		民間による下土狩駅前 coworking 『Scramble』の運営				都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった				<ul style="list-style-type: none"> ● coworking スペース利用者の中から長泉町のキーマンを発掘し、商店街空き店舗出店、遊休地活用イベント、公園利活用など、エリアリノベーション活用へと繋げていく。 			

様式2-2 地区の概要

鮎壺公園・下土狩駅周辺にぎわい交流地区(静岡県長泉町) 都市再生整備計画事業の成果概要

まちづくりの目標	目標を定量化する指標	従前値	目標値	評価値				
大目標: 地域の魅力を活かした快適な空間と、歩いて楽しい、にぎわいのある市街地の形成 目標1: 地域資源や施設等を活用し、住民や来訪者が憩い、集う快適な空間づくり 目標2: 魅力的な商業機能の誘導や歩行者ネットワークの構築等により、人が楽しみながら回遊し、にぎわいを生む市街地づくり	鮎壺公園利用率	単位: %	13.1	2018	25	2024	36.7	2025
	民間イベント開催回数	単位: 回	3	2018	10	2024	7	2024
	下土狩駅乗降者数	単位: 人/日	2,724	2018	2,940	2024	2,638	2024



まちの課題の変化

- ・鮎壺公園に整備より、地域住民の日常的な利用機会が増え、来訪者数の増加につながっている。
- ・下土狩駅前広場の整備により、駅周辺でのイベントが活発に行われており、にぎわいの創出につながっている。
- ・駅周辺の主要施設等を結ぶルートへの案内サインの設置や県道へのカラー舗装による安全な歩行者空間の形成、シェアサイクルステーションの設置により、回遊性の向上が図られている。
- ・コミュニティセンタながいずみ駅前広場での民間共催によるイベントの開催などが行われており、公共施設の有効活用につながっている。

今後のまちづくり
の方策
(改善策を含む)

- ・鮎壺公園では、地域住民の鮎壺公園の利用を促進するため、定期的なイベントの開催や公園施設の適正な維持管理を実施する。
- ・下土狩駅周辺においては、現在、民間主導により開催されているイベントを、他の月も含めて定期的に行う仕組みを構築し、年間を通してにぎわいを創出する。
- ・来訪者が回遊したくなるまちづくりとして、下土狩駅を起点として、各主要の公共施設や観光拠点を利用できるシェアサイクルステーションを充実させる。
- ・三島駅北口との交通アクセスの改善においては、長泉町地域公共交通計画に位置付けた新技術を活用したモデル事業等を引き続き検討していく。